

うと、世界第4位の人口・豊富な天然資源、広い国土（日本の約5倍）、外的ショックに強い内需主導といった要因が考えられる。

これを生かすためにインドネシア政府が「インドネシア経済開発拡大・加速マスタープラン 2011～2025年」を発表した。

注目する点は、目標を2025年に世界の10大経済国（2010年は18位）になろうとしている。世界第4位の人口に見合った経済力をつけようとしている。もう一つの注目点は、インドネシアの目指す将来像を「グローバルな食糧安全保障の基地であり、農業・農園・水産業製品と鉱業エネルギー資源の加工センターとしてのインドネシア」としている点である。

#### 4. 日系企業との関わりについて

日本企業によるインドネシアにおける投資を見ると、件数では四輪・二輪関係、機械関係が多く、金額で見ると、既進出企業の四輪・二輪関係が好調である。さらに、地方への展開を各社積極的に進めている。日本ブランドがおしゃれな感覚で受け止められているものもある。インドネシアは内需中心ながらもアジア全域でビジネスを展開している。

#### 5. おわりに

インドネシアは、民主主義体制の確立、これから約20年続く人口ボーナスの効果という2つの条件を得た今、潜在的な大国性を生かすことのできる局面に入った。インドネシアはGDP 6%程度の成長を継続し、経済大国への道を歩むだろう。



▲講演会 lecture meeting

demand against external shocks.

Last year, in order to make the most of these strong points, Indonesia announced the year 2011～2025 master plan for the expansion and acceleration of Indonesian economic development.

What attracts attention is Indonesia aim to become the world's 10th economic power by 2025 (18th in 2010).

Indonesia is trying to have an economic power commensurate to having the world's fourth largest population.

Another point calling for attention is Indonesia's future image of itself as the base for the global food supply, as well as a manufacturing center for agriculture, farms, fisheries and mining energy resources.

#### 4. Regarding relations with Japanese companies

Investment from Japanese companies in Indonesia is largest in the machinery, four-wheeled vehicle, and two-wheeled vehicle fields.

From a monetary point of view, already established four-wheeled vehicle, and two-wheeled vehicle company relations are doing well.

Japanese companies, moreover, are actively pursuing regional expansion, and Japanese brands are generally seen as fashionable.

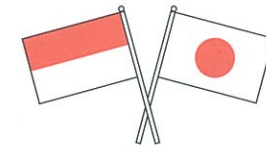
Indonesia, on account of its large domestic demand, is expanding business activities all across Asia.

#### 5. In conclusion

Indonesia has established a democratic system, and the effects of the advantages of having a large population will continue for about 20 years.

Now that Indonesia has these two conditions, it has become possible to take advantage of its potential power as a great nation.

Indonesia will continue to enjoy an approximate rate of 6% growth and advance on the way to becoming an economic superpower.



# 広島インドネシア協会会報 第23号

編集・発行 広島インドネシア協会  
広島ガス(株) 広報環境部内  
〒734-8555 広島市南区皆実町2-7-1 TEL (082) 252-3154

Hiroshima Gas corporate communication & public relations department  
no.7-1, 2-chome, Minamimachi Minami-ku Hiroshima,  
734-8555 tel:082-252-3154

2013年1月15日 15-1-2013

## 独立記念祭



▲帰国留学生と田村協会長 returning students with Mr. Tamura, HIA President

2012年8月28日(火)、シェラトンホテル広島において、インドネシア共和国の独立67周年を祝う記念祭を開催しました。駐日インドネシア共和国大使館のジョニー・シナガ公使をはじめとする来賓の皆さまを迎え、約200名もの皆さまにご参加いただきました。

記念祭は、エイシアンハーモニーアンクルン合奏団による伴奏で、インドネシアと日本の国歌を合唱し、幕をあげました。

まず、広島インドネシア協会の田村協会長、広島県の中山地域政策局長、インドネシア大使館のジョニー・シナガ公使よりご挨拶があり、広島市の谷川国際平和推進部長のご発声で乾杯した後、広島出身で世界を舞台に活躍されている神楽笛・篠笛奏者の「こと」さんによる演奏がありました。

続いて、留学生からの、踊りと歌による催しがあり、その後田村協会長から帰国する留学生一人ひとりに記念品が贈呈されました。留学生を代表して「イルマ・ウディアント」さんからお礼の言葉がありました。

約70名ものインドネシア留学生の方々にお越しいただき、たいへん盛りあがった記念祭となりました。



▲田村協会長ご挨拶 greeting by Mr. Tamura, HIA President

## CELEBRATION OF INDEPENDENCE DAY

On August 28, 2012, the celebration of the 67th Independence Day of the Republic of Indonesia was held at the Sheraton Hotel Hiroshima in Hiroshima City.

Approximately 200 people attended the event, including Mr. Jonny Sinaga, the Deputy Chief of Mission of the embassy of the Republic of Indonesia in Tokyo.

The event opened with the national anthems of both countries sung to the accompaniment of the Asian Harmony Angklung ensemble.

Speeches were first made by Mr. Tamura, President of the Hiroshima Indonesia Association (HIA), Mr. Nakayama, Regional Policy Bureau Chief of Hiroshima Prefecture, and Mr. Jonny Sinaga from the Indonesian embassy.

Afterwards, following the toast which was led by Mr. Tanigawa, Director of the Peace Promotion Project Team of Hiroshima City, Ms. Koto gave a performance of Japanese traditional flute (kagurabue). She comes from



▲ことさん演奏 Performance by Ms. Koto



▲インドネシア留学生の踊り dance performance by Indonesian students



## 講演会開催

2011年2月14日(月)、ホテルセンチュリー21広島において、**国士館大学 戸津正勝先生**を講師にお迎えし、講演会を開催しました。

『多民族国家インドネシアの現状と課題 一服飾文化を通じて考える』という演題で、ご講演いただきました。ご講演の概要を紹介します。

### 1. はじめに

私は、京都の西陣に生まれ、友禅染の職人の家庭で育った。



約40年前、インドネシアの憲法を勉強するために、インドネシアに行ったところ、逆にインドネシアの服飾にとりつかれて、インドネシアの世界にのめり込んでいった。インドネシアには120回以上行っているが、インドネシアは広すぎて、未だに知らないことが多い。服飾は、国家、インドネシアのそれぞれ民族のアイデンティティそのものであり、非常に重要な役割を果たしている。

### 2. インドネシアの服飾文化の特徴と歴史

各民族のアイデンティティのシンボルとして、バティック(更紗)、イカット(緋織)、ソケット(錦織)等、古代からの技術やモチーフにより驚くほど多様な服飾文化が形成された。

インドネシアの更紗と織物は文化対立の歴史である。染物は、ジャワ島のみで行われており、それは、ジャワ島対その他外島という構図になる。ジャワ島は、全国土の1割にもみえないが、豊富な農作物の生産が得られる地域であり、文化的・歴史的にインドネシアの中心的な役割をはたしてきた。

バティック文化は、古代ヒンドゥー・ジャワ王国の王宮文化のシンボルとして、発展を遂げ、イカット文化は、外島に住む各民族のアイデンティティのシンボルとして発達した。

バティックは、15世紀から20世紀にかけて、中国・アラブ・オランダなどの影響をうけ、自由なモチーフと色彩豊かなものが制作された。

ジャワの人の特徴として、空白は手抜きだと考えており、服飾に空間がない。また斜めが好き、立て柄がないという特徴がある。現在のジャカルタの元気さは、世界で一番だと考えている。今インドネシアでは、伝統文化をたいへん重視する傾向になっている。

### 3. 日本との関係について

もったいないと思うのは、日本人は遠慮しすぎであり、学ぶだけでなく、日本の素晴らしいものを持ちこんで、さらにバティックを改良するくらいの気概があって良いと考えている。

今後文化面での両国の協力が必要であると考えている。例えば専門家学芸員を博物館に配置するような事は必要ではないか。インドネシア人は日本人のことが、大好きであり、同じく日本人もそうである。例えば、日本は留学生を受け入れるだけではなく、奨学金をつけて日本人留学生を送り込むような政策が必要ではないだろうか。

経済だけではなく、インドネシアとの交流がいろいろな方面で強くなっていくことを希望してやまない。

### 4. ジャワのバティックからインドネシア・世界のバティックへ

初代大統領スカルノは、バティックをたいへん重視した。当時は、国会などでも服装はバラバラであった。

インドネシアでは当初、バティックを世界無形文化遺産に申請しなかった。ところがマレーシアが、バティックを世界無形文化遺産として申請する動きがあったことから、急遽、インドネシアはユネスコに申請し、バティックは一昨年無形世界文化遺産に登録された。

インドネシアのGDPはASEANの中で50%程度を占め、ますます大きい存在になっている。インドネシアは大きすぎる為にさまざまな多様性があり、その中でいろいろな混乱・衝突があったが、世界の中でも、非常にうまく国家形成に成功した代表例の国であると言える。その中でバティックは「民族統一の希望」として重要な役割を果たしている。



#### ●講師略歴●

- 1972年 早稲田大学政治学専攻修士課程修了
  - 1990年 国士館大学教養部教授
  - 1996年 国士館大学政経学部教授
  - 現在 国士館大学大学院政治学専攻科科長
- おもな研究分野
- ①アジア地域研究
  - ②東南アジアにおける多民族国家と国民国家の形成
  - ③インドネシアにおける国民文化の形成過程

## 2011年度総会

2011年5月31日(火)、ANAクラウンプラザホテル広島において2011年度総会を開催しました。駐日インドネシア共和国大使館のアルディ・ヘルマワン公使のほか、在大阪インドネシア共和国総領事館のイブヌ・ハディ総領事を来賓に迎え、約160名の方々のご出席をいただきました。

学生から歌と踊りの披露があり、盛会のうちに終了しました。



▲田村会長挨拶



▲インドネシア共和国大使館  
アルディ・ヘルマワン公使



▲県知事代理  
橋本康男国際部長



▲市長代理  
若林健祐国際平和推進部長

総会では、田村会長、アルディ・ヘルマワン公使の挨拶があった後、すべての議案が承認され、滞りなく終了しました。

交流会では、広島県知事代理橋本康男国際部長の挨拶、広島市長代理若林健祐国際平和推進部長の乾杯で幕をあげた後、日本とインドネシア間で締結された経済協定(EPA)に基づき、本年度広島県から初めて、看護師国家試験に合格されたテレジア・マリア・トジ・ピオさんに対して、お祝いを行いました。その後、留



▲乾杯の発声



▲看護師国家試験に合格されたテレジア・マリア・トジ・ピオさんのスピーチ



▲アルディ・ヘルマワン公使から花束の贈呈をされるトジさん



▲トジさんの合格を祝して田村会長から記念品の贈呈



▲歌と踊りを披露する留学生のみなさん

## インドネシア語講座

2011年7月30日から10月19日までの毎週水曜日に、広島市留学生会館においてインドネシア語講座(全10回)を開講しました。講師として広島大学歯学部でご研究されているウディアント・デジョジョサンコさんを迎え、テキストの“やさしい初歩インドネシア語”を中心に活用しながら、あいさつや会話を学びました。



ウディアントさんは、ご多忙の中、自作の資料を作成されたり、インドネシア語の習得度の異なる生徒に対して、それぞれの生徒に合わせた質問をするなど、丁寧に教えていただき、好評の講座となりました。

来年度も開催予定ですので、ご興味のある方は広島インドネシア事務局(TEL:082-252-3154)までご連絡ください。



# 総 会

2012年度総会を5月23日(水)、ANAクラウンプラザホテル広島において開催しました。駐日インドネシア共和国大使館のジョニー・シナガ公使のほか、在大阪インドネシア共和国総領事館のイブヌ・ハディ総領事を来賓に迎え、約170名の方々のご出席をいただきました。

総会では、田村協会長、ジョニー・シナガ公使のご挨拶があった後、すべての議案が承認され、滞りなく終了しました。

交流会では、広島県の中山地域政策局長のご挨拶、広島市の谷川国際平和推進部長のご発声の乾杯で幕をあげた後、日本とインドネシア間で締結された経済連携協定(EPA)に基づき、本年度、広島県から初めて、介護福祉士国家試験に合格されたアナ・グストリアニさんをお祝いさせていただきました。その後、留学生から歌と踊りの披露があり、盛会のうちに終了しました。



▲総会風景 general meeting



▲田村協会長ご挨拶  
greeting by Mr. Tamura, President of HIA



▲シナガ公使ご挨拶  
greeting by Mr. Shinaga, of the Embassy of Indonesia



▲中山局長ご挨拶  
greeting by Mr. Masafumi Nakayama, Director General of the Regional Policy Bureau of Hiroshima prefecture



▲マツダ(株)中峯専務(協会副会長)ご挨拶  
greeting by Mr. Nakamine, director of the Mazda corporation



▲田村協会長から記念品を贈呈されるアナさん  
souvenir to Ms. Ana from Mr. Tamura of HIA President

# GENERAL MEETING

On May 23, the general meeting of the HIA in 2012 was held at the ANA Crowne Plaza Hotel in Hiroshima City.

The event was attended by approximately 170 people, with Mr. Jonny Sinaga, the Deputy Chief of Mission from the Embassy of the Republic of Indonesia in Tokyo, and Mr. Ibnu Hadi, the Consul General, from the Consulate General of Indonesia in Osaka, attending as guests.

At the general meeting, every proposal submitted was accepted, following the speeches by the HIA President, Mr. Tamura, and Mr. Jonny Sinaga.

At the reception, the HIA congratulated Ms. Ana Gustoriani, the first Indonesian to pass the national care worker exam in Hiroshima Prefecture, on her success.

Afterwards Indonesian students (PPI-Hiroshima) performed dances and songs, and the party finished in a very successful manner.



▲インドネシア留学生の踊り  
Indonesian student's dance performance



▲シナガ公使から花束を贈呈されるアナさん  
bouquet present to Ms. Ana from Mr. Shinaga, of the Embassy of Indonesia

# 講演会

2012年2月6日(月)、ホテルグランヴィア広島において、日本貿易振興機構 アジア経済研究所 地域研究センター 次長の佐藤百合様を講師にお迎えし、講演会と交流会を開催しました。

『インドネシア経済の現状と展望～日系企業との関わりも含めて～』という演題で、ご講演いただきました。ご講演の要旨を紹介します。



▲講師の佐藤先生 Ms.Yuir Sato as lecturer

## 1. はじめに

インドネシアは、新興経済国として世界中から注目されている。また近年、多くの日本企業がインドネシアでビジネスを展開している。

## 2. インドネシアに注がれる世界の視線

21世紀はアジアの世紀であり、Asia 7 (中国・インド・インドネシア・日本・韓国・マレーシア・タイ)が牽引する。Asia 7の合計GDPは2050年のGDPの45%に達する」と予測している。また、日本を除く「BRICKs (ブラジル・中国・インド・インドネシア・ロシア・韓国)の6カ国の成長が、2050年までの経済成長の半分以上を占める」と予測している。このどちらにもインドネシアは含まれていることから注目度が高まってきていることがうかがえる。

インドネシアは民主主義国家であり、ユドヨノ大統領が再選され、経済だけでなく政治の面からも注目されている。

## 3. インドネシアの発展見通し

インドネシアは、近年、年率約6%の経済成長を継続している。

なぜこのようにインドネシアが成長してきたかとい

# LECTURE MEETING

On February 6, 2012, a lecture meeting was held at the Hotel Granvia Hiroshima with Ms. Yuir Sato, the Deputy Director General of the Area Studies Center of the Institute of Developing Economies (IDE) of the Japan External Trade Organization (JETRO), taking the role of lecturer.

The title of the lecture was "The Present State and Future of the Indonesian Economy ~ Including Relations with Japanese Companies". The Following is the outline of the lecture.

## 1. Introduction

Indonesia is attracting attention from all over the world as a country with a rising economy. Recently, more and more Japanese companies have begun doing business in Indonesia.

## 2. The eyes of the world are gazing upon Indonesia

The 21st century is the century of Asia, and the "Asia 7" (China, India, Indonesia, Japan, South Korea, Malaysia and Thailand, ) will lead the world.

The sum of the GDP of the Asia 7 is estimated to reach 45 percent of the total world GDP by 2050.

It is also predicted that the growth of the BRICKs (Brazil, Russia, India, Indonesia, China, and South Korea) will account for more than half of the world's economic growth by the year 2025.

Indonesia is included in both of the groups. This shows that Indonesia is attracting more and more attention from the world.

Indonesia is a democratic country. President Yudhoyono was re-elected, and the country has stabilized not only economically, but also politically.

## 3. Prospects for the development of Indonesia

Indonesia has recently been maintaining a rate of approximately 6 percent economic growth per year.

The factors which will support Indonesia's long or mid-term economic growth are the following: the world's 4th largest population, abundant natural resources, the size of the country's land area (about 5 times the size of Japan), and the strength of domestic